

2006年(平成18年)1月31日(火曜日)

中国新聞



タガログ語で「地球人」を練習する和田さん(左から2人目)たち

2006.1/31(火)中国新聞

員和田小鈴さん(37)と三次市南畑敷町Ⅱがタガログ語に翻訳した。

タガログ語は、一九八七年に憲法で公用語に定められたフィリピン語のベースとなった言語。フィリピンではスペインや米国などの植民地になる前から話されてきた。

「外国人はみんな悪い」という間違った見方を無くし、地球のみんなが仲良くなれば」と和田さん。他の言語の歌も合わせて来場者にも一緒に歌ってもらおう。

コンサートは午後一時半から、同市十日市西のみよしまちづくりセンターで。入場料は日本人の大人千二百円(前売り千円)。外国人と未成年は無料。神岡代表 ☎090(4805)8878。

(余村泰樹)

偏見を無くそう タガログ語で歌

三次で来月披露

三次市の国際交流グループ「EGG」(神岡百合美代表)のメンバーが、二月十二日のコンサートで、フィリピンのタガログ語で国際交流の歌「地球人」を歌う。広島市安芸区の小一女児殺害事件で強まった外国人への偏見を無くそうとの願いを込める。

EGGのメンバーが作詞した「地球人」は、イベントなどで、英語や韓国語など六カ国語で歌ってきた。今月中旬、フィリピン出身のパート従業員